

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	たむら地方児童発達支援センター（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 7日		～ 令和 7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 7日		～ 令和 7年 1月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	令和 7年 2月 3日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	4施設	(回答数) 2施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達支援経験の長い職員が訪問できる	訪問先によって建物の構造や部屋数などが様々で、訪問先の今の環境の中で、対応出来る事は何かを考えて支援をしています。また、視覚支援に有効な教材や、手作りで簡単に作れる課題を持参し実際に見てもらう事で、訪問施設でも取り入れやすくなるように支援しています。	訪問の際には、支援前と支援後にカンファレンスの時間を設けています。その時間に聞きたかった事を聞き忘れてしまった…という事がありました。質問表を作成し、訪問日前にFAXで送る等のシステムを取る事で、より有意義な訪問となるよう改善を図りたいと思います。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	多職種で訪問する事が出来ない	現在の職員配置ですと、児童発達管理責任者・保育士・児童指導員なので、作業療法士や心理士等からの専門的な意見を聞く事が出来ておりません。	職員配置に対する要望等を、本部事務局に提案していきたいです。